

音楽スタジオやホームシアターなど、
音にこだわる人たちに。
自由な配置で音の響きを
制御可能にしたパネル、
「クワイセントパネル」登場。

音を聴く、音に効く)))



クワイセントパネル。



QUIESCENT
panel



音楽で一番重要な中・低域に対応

クワイセントパネル



特長

- ◆ 膜振動を利用した自社開発吸音材を採用
- ◆ 従来、困難とされていた500Hz以下の周波数に対応
- ◆ 中・低域(250~500Hz)対応と広帯域(200Hz以上)対応の2種類を用意
- ◆ 配置・枚数の組み合わせで「音の響き」を制御可能

用途

- ◆ 音楽スタジオ ◆ オーディオルーム ◆ 楽器練習室
- ◆ ホームシアター ◆ リビングルーム ◆ 会議室 ◆ 応接室



※実際の色合いと若干異なる場合があります。

クワイセントパネル仕様

型式	標準サイズ		小型サイズ		
	SQR25	SQ25R50	SQR25-4343	SQ25R50-4343	SQ25R50-8930
主な周波数	250~500Hz	200 ~ 4,000Hz	250 ~ 500Hz	200 ~ 4,000Hz	
使用形態	壁掛け、自立(室内用)				
使用する吸音デバイス	低周波帯域型 R25 t=25	広帯域型 25R50 t=75	低周波帯域型 R25 t=25	広帯域型 25R50 t=75	
外形寸法 (cm)	52(W)×92(H)×3(D)	52(W)×92(H)×8(D)	45(W)×45(H)×3(D)	45(W)×45(H)×8(D)	33(W)×92(H)×8(D)
質量 (kg)	2.5	4	1.1	2	2.7
吸音率特性	図1参照				
残響時間	図2参照	図3参照	図2参照	図3参照	
スタンド	付属	—	付属	—	
使用環境	温度:0~40℃、湿度:70%以下(結露なきこと)				

※クワイセントパネルは室内での音の響きを調整するものであり、室外からの音を遮ったり、室内の音を外に漏れないようにする用途には適しません。

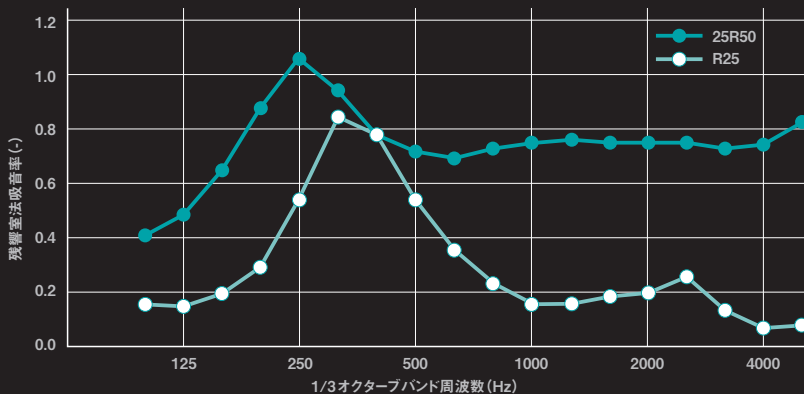


図1 周波数別吸音率

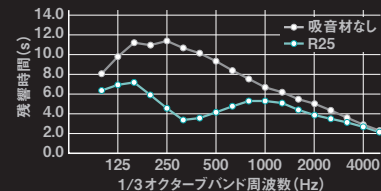


図2 R25 周波数別残響時間

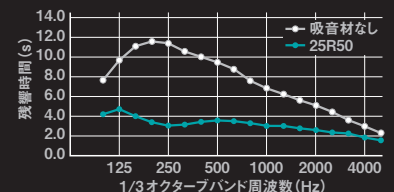


図3 25R50 周波数別残響時間

QUIESCENTpanel(クワイセントパネル)は、音を制御し地球に優しい、人に優しい、機械に優しい快適な環境を創造する昭和電線の制音テクノロジー「QUIESCENT(クワイセント)」のコンポーネント製品です。

測定条件/測定場所:弊社関連残響室、試験方法:JIS A 1409準拠、室内容積:259.7m³、室内表面積:253.0m²、サンプルサイズ9.9m²

取扱代理店

製造・販売元

昭和電線デバイステクノロジー株式会社

営業統括部 クワイセント営業課

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-18(東京虎ノ門ビル)

TEL : (03) 3597-7058

URL : <http://www.swcc.co.jp/>

E-mail : sdt@dt.swcc.co.jp

※当カタログに記載された仕様・外観の一部を予告なしに変更することがあります。

この印刷物の用紙は、古紙配合率40%の再生紙を使用しています。
また印刷インキには発揮性の低い植物油の比率を増した「大豆インキ」を使用しております。



CAT. NO. 54-19-2 09.12R